

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
ひたちなか市中央地区

令和元年7月

茨城県ひたちなか市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	バリアフリー環境への満足度	%	13	15	53	確定 見込み	● ○	○	あり なし	-	R 年月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	歩道の段差解消や連続性の向上などにより、満足度の上昇につながった。
指標2	地区内居住人口	人	7,560	8,000	7,708	確定 見込み	● △	△	あり なし	7,783	R 元年6月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	目標に達していないが、公園の整備や地区計画に基づいた集合及び戸別住宅の誘導などにより、増加となった。
指標3	まちなみに対する満足度	%	26	30	51	確定 見込み	● ○	○	あり なし	-	R 年月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	公園整備や歩道の再整備、地区計画による建築制限により、満足度の向上につながった。
指標4	公共交通の利用者数	人	845,000	909,000	1,183,766	確定 見込み	● ○	○	あり なし	-	R 年月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	コミュニティバスのルート見直しや駅のシェルター整備により、公共交通の利便性が高まり利用者の増加につながった。
指標5						確定 見込み	● ○	○	あり なし	-	R 年月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み					R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	
その他の数値指標2					確定 見込み					R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	
その他の数値指標3					確定 見込み					R 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたて	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	・中心市街地の賑わい持続	・コミュニティバスについて、新コースの開設や停留所の増設により、中心市街地へのアクセス向上に努めた。 ・公園の利用促進や良好な維持管理のため、市民団体による花壇の整備、清掃活動を実施した。	・新規ルートの追加や既設ルートの利用者増により、バス利用者が10,558人増加となった。 ・公園の良好な維持管理により、野外学習会やウォーキングに使われるなど、利用者増加に繋がった。	・今後もバス運行ルートの見直し等を検討していく必要がある。 ・今後も公園の良好な環境の確保や利用者促進に努めていく必要がある。
	・公共交通体系の確立	・コミュニティバスについて、住民の意見を反映した運行ルートの見直しを実施した。	・コミュニティバスの新コース開設により、公共交通ネットワークの充実が図られた。	・今後もバス運行ルートの見直し等を継続していく必要がある。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	・親水性中央公園の継続整備	・公園施設の追加整備を実施した。	・公園利用者の意見を反映して、ベンチを増加したことにより、ひろば利用者の利便性が高まった。	・今後も利用者のニーズを把握していく必要がある。
	・歩行者の安全確保	・住民（歩行者）の意向を確認。	・現在、安全確保に関する具体的な要望は無い。	・今後も住民の意向の把握に努める必要がある。
	・新たな住民と地域の関わり	・マンション購入条件に自治会加入を義務付けるなど、自治会において加入促進活動を実施した。	・自治会への加入促進活動を実施した結果、加入世帯が85世帯増加した。	・今後も自治会加入率の向上に努める必要がある。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項